

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線）2632
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 （1）高齢者生きがい活動支援通所事業 （2）地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 （3）その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 （1）屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 （2）その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日

2 施設の利用状況等について

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開館等日（日）	289	269	264	263	243
延べ利用者数 必須事業（人）	2,867	2,623	2,272	2,111	2,190
前年度比（人）	133	△244	△351	△161	79
前年度比（％）	104.9%	91.5%	86.6%	92.9%	103.7%
延べ利用者数 自主事業（人）	2,267	2,362	2,488	2,713	3,020
前年度比（人）	1,283	95	126	225	307
前年度比（％）	230.4%	104.2%	105.3%	109.0%	111.3%
利用料金 合計 必須事業（千円）	2,542	2,296	1,979	1,850	1,862
前年度比（千円）	168	△246	△317	△129	12
前年度比（％）	107.1%	90.3%	86.2%	93.5%	100.6%
利用料金 合計 自主事業（千円）	2,225	2,328	2,765	2,060	2,617
前年度比（千円）	219	103	437	△705	557
前年度比（％）	110.9%	104.6%	118.8%	74.5%	127.0%

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収 入	指定管理料	13,640	13,927	13,791	13,735	13,882
	利用料金収入	2,542	2,296	1,979	1,850	1,862
	自主事業収入	2,225	2,328	2,765	2,060	2,617
	収入計	18,407	18,551	18,535	17,645	18,360
支 出	人件費	10,604	10,210	9,955	9,333	11,606
	維持管理経費	5,156	5,244	5,498	5,011	5,485
	自主事業関係経費	2,624	2,225	2,174	1,695	1,854
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	18,384	17,679	17,628	16,040	18,945

収支（収入－支出）	23	872	908	1,606	△585
-----------	----	-----	-----	-------	------

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
利用者の意見等を取り入れるため、意見箱の設置や、講座の終了後に感想や要望を伺っています。通所事業の利用者には年に一回程度、個別に面談を行っています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
歌、ヨガ、男性の講座の要望があり、新講座としてコーラスとカラオケ教室を始めました。ヨガ、男性向けの講座については検討しています。麻雀講座では、対戦相手の組み合わせに対しての要望があり、できる範囲でご希望に添えるよう配慮しています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
必須事業では昨年度も好評だった昼食作り、おやつ作り、買い物ツアーを行いました。また、昼食後に廊下を歩く「歩こう会」も積極的に参加を促し、どの位歩いたかが見えるよう歩いた分のシールを貼ることで、モチベーションのアップにつながりました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
こまめに電気を消し、エアコンも冷えすぎないように温度調節等を行い、節電に取り組みました。水道・ガスも同じように心掛けています。ご寄付いただいた不用品等を活動の材料に利用し、事業等に使用しています。施設等の整備や修理は、利用者の安全を第一に考えながら必要最低限で行っています。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業では利用者数が減少傾向にある為、自治会や周辺への広報活動を行い、新規利用者増加に力を入れていく必要があります。 自主事業では利用者のニーズに合った新講座を増やし、地域の方がもっと気軽に五日市センターを利用し、楽しく交流ができるよう努めていきたいと思えます。また、安全に利用いただく為に施設等の整備や修繕を行っていく予定です。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
意見箱や講座修了後の感想、要望を伺い、新規講座の開設等を行っており、利用者のニーズに応えられる様なセンター運営を行っている。また、昼食やおやつ作り、買い物ツアー等を行い、利用者のいきがいややりがいを保つ工夫を行っており、評価できる。引き続き、利用者目線のセンター運営に努めていきたい。
経費削減の取組
こまめな消灯やエアコンの温度調節、不要品等の活用など経費削減に取り組んでいることは、評価できる。引き続き、センター運営に支障が出ない程度の経費削減に努めていきたい。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
自治会等地域の方々の協力、センターの周知等に力を入れ、新規利用者の獲得、利用者ニーズの把握に努めていきたい。また、施設等の整備や修繕を行い、安全に配慮したセンター運営を引き続き行っていただきたい。

総合評価	A
------	----------

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。